



学校だより

令和4年12月1日(木)

第824号

さいたま市立日進小学校

TEL: 663-6942

関わりを通じた 豊かな学び合い

校長 野上 正嗣

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなり、季節は寒い冬へ移りました。早いもので、もう師走。今年のカレンダーも、いよいよ最後の1枚分となりました。

さて、11月19日の学校公開日は土曜日にもかかわらず、たくさんの保護者や地域の皆様に御来校いただき誠にありがとうございました。1学期の授業公開から、一段と成長したお子様の学校での様子を御覧になることができたことと思います。12月には、個人面談を計画しています。お子様の学校や御家庭での様子を保護者の方々と担任が、しっかりと話し合う良い機会と考えておりますので、御協力の程よろしくお願いいたします。

11月は行事が多く、2日は「150%の笑顔で他学年と協力して思い出に残そう」というスローガンのもと、校庭で日進小まつりが行われました。2年生以上のクラスが事前にCMを制作して全校放送し、当日はお店屋さん役が大きな声で宣伝や笑顔で接客をしたりお客さん役がゲームに夢中になって楽しんだりして、有意義な時間を過ごしていました。また、6年生が1年生と一緒にお店を回り、優しく話しかける姿も微笑ましかったです。

子どもたち同士の関わり合いは他校にも広がり、8日の小・中合同音楽会でもみられました。4年1組が代表で参加し「君をのせて」を合唱して、練習の成果を発揮しました。真剣な表情で、他の学校に勝るとも劣らない素晴らしい歌声をホール中に響かせました。同日に日進中学校2年生と保健体育の合同授業も行われ、6年生が中学生に救命処置の手順を教わりました。AEDを使う様子をタブレットで撮影しアドバイスをもらうなど、自分たちが自分たちで命を守るためにできることや命の大切さについて学び合いました。

一方で教員にとっても11月は、互いの指導力を向上させる学び合い月間でした。10日は全教員が授業を公開し、教育委員会の方々から御指導をいただきました。また17日の午後は、さいたま市教育研究会研修大会が行われ、市内小中学校による各教科の研究授業・協議会に出席し、研修を深めました。さらに22日には、学校課題研修として「言葉で自分の思いや考えを伝え合うことができる児童の育成」に向け、2クラスの国語科の研究授業を見合いました。研修の成果を生かして、日々の授業においてもこれまで以上に子どもたちが互いに関わり合い、豊かに学ぶ姿が見られるようより一層努めてまいります。

最後に、150周年を迎えた日進小学校の豆知識を一つ。子どもたちの学びの充実と教員の指導力向上に向け、「昭和38年11月20日 大宮市教育委員会委嘱算数科研究発表会」の記録がありました。それ以降も多数の研究発表会資料が、校長室に保管されています。半世紀以上前から、熱心に授業研究を行う日進小職員の先輩方に深く敬意を表します。